

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

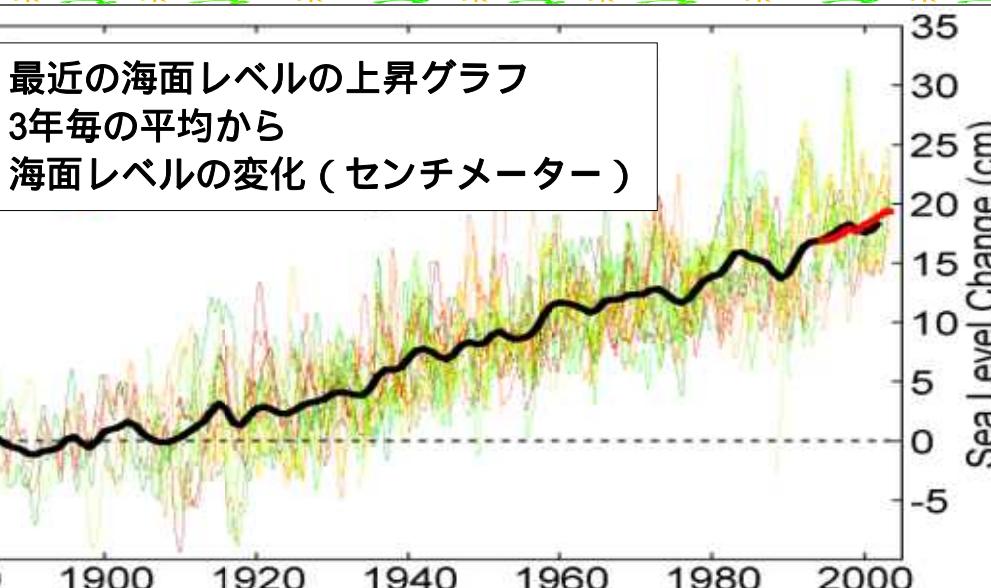
2007年11月1日

50号

ノーベル平和賞、ゴア前米副大統領らに

ノルウェーのノーベル賞委員会は12日、2007年のノーベル平和賞をアル・ゴア前米副大統領(59)と、各国の科学者らで構成する国連組織の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」に授与すると発表した。 「人類が引き起こした気候変動に関する知識の普及に尽力した」ことが授賞理由

最近の海面レベルの上昇グラフ
3年毎の平均から
海面レベルの変化(センチメーター)



IPCC報告書・地球温暖化の危険
性明言 2007/02/15

「大気や海洋の平均温度の上昇

拡大する雪氷の融解、平均海面水位の上昇など観測結果から明らかなように、気候システムの温暖化は疑いもない」。気候変動に関する国連の政府間パネル

(IPCC)の第4次評価報告書
「気候変動二〇〇七年：自然

科学的根拠」は、一七五〇年

來の人間の経済活動による温

室効果ガスの增加が地球温暖化をもたらしたと明言した。

報告書は、「酸化炭素濃度が近年急増し、この五〇年間の

温暖化の傾向は過去百年のほ

ぼ二倍と指摘、二十一世紀末

には地球の気温は六度上昇す

ると警告した。報告書はさら

に、猛暑や暖冬、干ばつ、氷

河の融解、海面の上昇、浸水、

生物多様性の破壊など、温暖

化により異常気象が増大し、

人間の存在の基盤そのものが

崩壊されると警告している。

例：ツバル諸島

ツバル諸島とは、南太平洋に浮かぶサンゴ礁の国です。人口約一万千人、九つの島からなるツバル諸島の面積は計二

キロメートル。最も高いところでも、わずか海拔(水面から)4mです。

高潮になると、海水が島の内部まで来て、家の並ぶ海岸部が浸食され、地下水の塩水化が生活と農業に打撃を与えています。

ツバル政府の危機感は強く、大量移民を本気で考えています。

「海面上昇は心配で、数十年後に我が国がどんな状態になつているかわからない。

離島は住民一人ひとりの判断によるが、準備をしておくのが政府の役割だ」といつています。

例二

クイーンズ大学(カナダ)のスコット・ラムール氏によれば、カナダ

北西部の北極圏にあるメルヴィル島の様相はこの夏一変してしまつたといつ。通常、メルヴィル島は、

一年中氷で覆われている。しかし、この夏、島の南部には氷がなくなつた。島北西部のモールド湾では、

七月の平均気温が四十五度だった

ものが今年の夏には十五度二十二度を記録した。この高温は、ツン

ドラの永久凍土を深さ一m以上も溶かした。水や堆積物が付近の海や川、湖に流れ出して、地域の生態系に悪影響を及ぼしている。

レダからの報告

(伊達農業指導員 十月十日記)

レダは春から初夏の時期でしょうか。木々にも新芽が目立ち、ジャカランド、チバトなども美しい花を見せてくれます。

農業の方は、雨が本格化する前に、とにかく植えられる場所には植えようということで、ジャトロファは第一農場のサトウキビ、タルタゴ跡に二百三十本の二世の苗を植え、旧第1水田後の一帯に五十五本のブラジル産の苗を植えました。そして二ームは、第四農場の西側アランブレ沿いに二十一本、第二農場の植樹園側のアランブレ沿いに、植え付けの終わっていない場所や、枯れたところに二十九本、二ーム畑に四本、その南奥の道路側に六本ほど植え、合計六十本。第3農場の道路側のアランブレ沿いに大山先生のグループが今までに百三十本植えています。

ですから近く、二ームの数は一倍になります。ジャトロファの数は、第三農場のアランブレ沿いのものを植え替え用に使いましたから、まだ三百本程しか増えていません。しかし、これから十ヘクタールの場所に植え付けが始まれば一気に増加します。



ジャトロファの苗床

三百個のモリンガのポットからもどんどん芽が出ています。これは一週間ぐらいから芽が出てくるようです。一ヶ月半ぐらいで植え付けができるかと思います。それらは、今このところ羊小屋の後ろに新しく耕された場所と、旧水田の所に植える予定です。通気性のある良い土地を必要としていますので、養分の十分ある場所を選ぶ必要があります。本格的な定植の前に、ソルゴとかひまわりなどを緑肥として植えておいて、土の質を少しでもよくする予定です。

中田戦略としては、レダはジャトロファ、タルタゴ、モリンガ、二ームの四本立てでゆき、相互関連させながら独自の栽培方法を確立するということです。今後大規模な栽培となる為の準備として、いかに労費をかけないで、単純な作業で栽培できるかという方法を見つけていかなくてはなりません。レダの特徴としては無尽蔵に流れて来るアグアツペを使えることと、比較的水を使いややすい事ですが、それも限度があると思います。自然な状態でジャトロファを栽培してどれぐらいの収穫を見込めるのか見極める必要があります。水田に植えたブラジル産のジャトロファはこれから水をあげないので、自然な状態でどれくらい育つか実験観察する予定です。



ソルゴ（緑肥）



モリンガの成木



今年のマンゴの実



土壌改良する上山氏と紅屋氏



ジャトロファの植え付け

地球環境問題を学び、希望の未来を作ろう！

今まで「パンタナール通信」は、何回となく地球環境問題を学ぶ為の基礎的資料を提供してきました。近年の地球全体を覆う異常気象は、遠いどこかの話として無関心を装えない程、今年の記録破りの猛暑続きを始め、共通にある不安感「地球はこれからどうなるのだろう？」を体験してきました。今や地球環境問題は、特定の学者達やボランティア団体が叫ぶだけでなく、茶の間の話題になる程に身近に取り上げられてきました。更に地球環境問題を分かりやすく講演し、「現代人はどうあるべきか」を世界に警鐘乱打して来たアル・ゴア氏（「パンタナール通信」44号参照）が、ノーベル平和賞を受賞すると発表され、一段と世の関心が高まっています。

最早避けて通れない地球全体の共通課題として、それは膨大な公害を出しながらも先進国の責任だと責任回避してきた中国も、首都が公害の為、このままでは北京オリンピックが危ぶまれ始めるという現実に直面し、対応せざるを得なくなり、強大国と言われるアメリカでさえ、再三の強烈なハリケーンに襲われ大災害となつた時、環境問題を決議した京都議定書を避けて自國利益のみを追求した国家工ゴは許されない非常事態として認識され、ブッシュ大統領も重

い腰を上げて国際協力に取り組まざるを得なくなりました。当会は、この地球環境問題を更に深く学び合い、より多くの人々に呼びかけて、現世の私達だけでなく、これから生まではなく、希望を持つて未来の地球の恒久平和を造り出して行けるよう日々心がけて取り組んで行きたいと思います。

その為の第一歩として、これから連載で「入門編地球環境クイズ」を掲載して、少しでも学習が促進出来るお手伝いをして行きたいと思います。クイズは名前の如く入門編ですから、勿論既に高度な段階を学んでおられる方には参考になりませんが、その場合はより多くの人々に関心を持つていていただくツールとしてご活用して貰えれば有り難いです。今回は、まず軽く準備運動として、一つだけ出題してみますので、試してみてください。

問題一・次の文の数字部分に適正な単語を入れてください。

地球温暖化とは
1 表面の 2
や海洋の 3 が
長期的に見て上昇
する現象である。

答え：1・地球

2・大気、
3・平均温度



アマゾンの森林破壊



中畔氏、研究所の前で

南北米会員の中畔氏が九月末にアフリカ大陸、マリで、バイオディーゼル製造の為にジャトロファ栽培を研究している研究所を訪問した。予想以上にジャトロファ栽培が進んでおり、地域社会の産業の為、既に搾油機を導入し、ジャトロファの種から油を採取し、車のエンジンに付属品を付けて、採取した油で車の燃料としていたとの報告があった。

